



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 23

令和8年1月28日

ドラえもん募金（赤い羽根共同募金）

1月8日（木）の始業式前に、鈴鹿市社会福祉協議会の方へ、体育・福祉委員が集まった募金を手渡しました。

社会福祉協議会の方からは、募金のお礼と、この募金を高齢者や障がい者への福祉サービスの充実や、災害支援、公園の整備等に役立てることを説明していただきました。

各ご家庭で募金に協力していただき、ありがとうございました。



英語まつり

1月14日（水）の児童集会で英語まつりを行いました。英語まつりは6年生が計画、運営を行い、1年生から5年生までが縦割り班で参加しました。

最初は、3年生以上が外国語・外国語活動のウォーミングアップで取り組んでいるダンスイングリッシュを全校で踊りました。ダンスイングリッシュは、合川小学校が平成27年度に教育課程特例校として英語を推進していた時代からずっと受け継がれてきたアクティビティで、伝統的な取り組みになっています。6年生がステージで見本を見せ、それにあわせて低学年も一生懸命に踊っていました。

その後は、「道案内」、「ドンじゃんけん」、「ラッキーゲーム」の3つのブースに分かれ、班ごとに交代で英語のアクティビティを行いました。6年生が主体的に動いて説明や進行を行いましたので、下級生は楽しそうに活動をしていました。

英語まつりは、15日～20日まで、「インタビューゲーム」を業間と昼休みにも行いました。合川小学校の英語活動は、今後も天栄小学校に引き継がれていきます。



連れ去り防止教室

1月21日（水）に、1年生から5年生が参加し、連れ去り防止教室を実施しました。講師は鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課と鈴鹿警察署生活安全課から3名来ていただきました。

最初に、不審者に遭遇した時の対応をDVDで視聴し、「いかのおすし」（ついていかない、乗らない、大声を出す、すぐ逃げる、知らせる）ことの大切さを学びました。

次に、教育支援課の先生が不審者役になり、実際に不審者に遭遇した時の対応をグループ別に体験しました。不審者からの誘惑を断り、子どもを守る家へ避難して状況を正確に伝えるというロールプレイングでしたが、子どもたちは指導された通り、上手に対応していました。また、実際に不審者に遭遇した時は、怖くて防犯用の笛（赤笛）が吹けないという実態がありますので、しっかりと大きな音が出せるように、笛の吹き方も練習しました。



薬物乱用防止教室

1月22日（木）に、学校薬剤師の金丸邦子先生に来校していただき、5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。金丸先生からは、「薬の働きや効き方」「薬の飲み方や注意点」「副作用」や「オーバードーズ（一度に薬を大量に飲むこと）」についてお話をいただきました。



特に薬の飲み方については、水、お茶、ジュースで飲んだ場合の簡単な実験をしていただいたので、水で飲むことの大切さがよくわかりました。

ちなみに水以外で薬を飲むと、以下のような問題があるそうです。

お茶・・・薬の効き目が弱くなることがある。
牛乳・・・薬が効くのに時間がかかりすぎる。
コーラ・・・カフェインが効きすぎて、眠れなくなることもある。
ジュース・・・薬の効き目を変えてしまうことがある。



また、オーバードーズについては、意識障害や錯乱、吐き気などの副作用がおきたり、依存症になってしまったりすることを教えていただきました。近年、オーバードーズをする若者が増えており、社会問題になっています。薬にはリスクがあることを理解し、薬物を乱用しないための正しい知識と強い意志を持つことが大切です。金丸先生が最後に、「なぜオーバードーズをするのか？ しないためにはどうしたらいいのか？」考えてほしいと話してみえました。この機会に、ご家庭でも薬の正しい使用方法について、お子さんと一緒に考えていただきたいと思います。